

北光だより

特別号
2022. 9. 20

全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします



この調査は、本校の児童の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法、生活面の改善などに役立てることを目的としています。

8月に文部科学省から結果が送られてきましたので、その概要をお知らせします。今後学校では、「各教科における改善点」をもとに全学年で取組を進めていきます。また、各ご家庭でも後述する「ご家庭へのお願い」をお読みいただき、ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・実施日 令和4年4月19日（火） 全国一斉
- ・対象 全国の小学校6年生及び中学3年生
- ・調査内容 ①教科に関する問題（国語・算数・理科）
主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題を一体的に出題
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

※調査に参加した6年生には、学級において答え合わせや問題の解説を行います。また個別懇談等を通じて具体的な成果や課題について説明していく予定です。

本校の状況(全国・県との比較)

本校の結果は、国語・算数・理科ともに、全国平均・県平均とほぼ同等でした。
(全国正答率の±5%の範囲にある場合は、全国平均とほぼ同等であるという分析)

各教科の結果

(◎成果 ●課題)



国語

◎領域別の正答率をみると「読むこと」が、全国及び県を上回っています。登場人物の気持ちを読み取ったり、物語の全体像を具体的に想像できたりしています。

◎記述式の問題の正答率が、全国及び県を上回っています。

●領域や観点別の正答率では「話すこと・聞くこと」が下回っていました。互いの立場や意図を明確にしながら、自分の考えをまとめる力等に課題があります。

算 数

◎領域別の正答率をみると「数と計算」が全国及び県を上回っています。「図形」・「変化と関係」・「データの活用」等、他の領域はほぼ同等です。

◎記述式の問題の正答率が、県を上回っています。求め方や回答の根拠となる理由などを記述することができています。

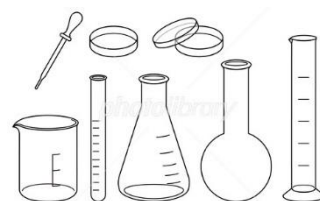
●「割合の見方」についての問題に課題があります。

理 科

◎4つの区分・領域（エネルギー・粒子・生命・地球）のうち、3区分・領域は全国・県をわずかに上回っています。

●「エネルギー」の区分・領域が平均に届きませんでした。日光の性質についての知識や思考に課題があります。

●実験や観察で使用する器具の名称や使い方を、正しく理解できていないことが明らかになりました。



★改善点★

基礎的・基本的な知識及び技能の定着（漢字や器具の名称等）を単にドリル等で繰り返すことで行うのではなく、問題を解決する場面をより多く設定し、その中で必要な知識及び技能を活用し、定着できるようにする。

☆国語…相手にわかりやすく伝えるために、自分の考えをまとめ、目的や意図を考えながら文章を書いたり、話したりするような学習の機会を増やす。

☆算数…日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決を図ったり、学習したことを生活の場面へ戻し、発展的に追究したりする課題にも挑戦していく。

☆理科…自分の言葉でまとめたり説明したりする機会を増やし、確かな知識に結びつける。

質問紙調査の結果

質問紙調査は、学校や家庭における勉強や生活の様子について調査したもので、全部で69項目あります。本校の特徴は次のとおりです。(なお、文中の「肯定的」というのは、問いに対して「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えている場合をいいます。)

生活について

- ほとんどの児童が朝食を食べる、決まった時間に就寝・起床をするなど、ご家庭での毎日の生活基盤がきちんとされていることがうかがわれます。
- 平日、2時間以上、ゲーム(パソコン、スマホ、携帯等)をする児童がおよそ5割、動画視聴をする児童がおよそ3割、また、3時間以上という児童もそれぞれ1割程度います。

自分や友だち・学級について

- 「将来の夢や目標をもっている」「自分で決めたことは、やり遂げるようにしている」の問いに肯定的に答えている児童が9割を超え、向上心を持ち、努力していることがわかります。
- 「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人に相談できるか」「友達と協力するのは楽しいか」の問いに肯定的に答えた児童が9割を超え、精神的に安定した学校生活を送れていることがうかがえます。

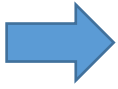
学習について

- 平日の勉強時間は1時間～2時間が一番多く7割、次いで30分～1時間が2割となっています。土・日などの休日は1時間以下の児童がほぼ5割です。
- 「国語・算数・理科の勉強は好きか」の問い、7割～8割の児童が肯定的に答えています。

地域や社会への関心について

- 地域の行事に参加している割合は5割程度で、県および全国より、やや低いです。
- 「新聞を読んでいるか」については、「全く読まない」と答えた児童は7割を超え、全国と県とほぼ同じであるが、依然として低い傾向にあります。





★改善点★

☆すべての学習活動において「見通し」「ふり返り」を大切に、児童一人一人が自主的・主体的に活動できるようにすることで、充実感や達成感を得ることができ、自己有用感や自信につながる指導に努める。

☆学習したことが、自己の成長にとって有益になることを経験させたり考えさせたりする機会をもち、学習への機会を高める指導に努める。

☆「情報モラル教育」を積極的に行う。また、同地区の中学校の定期テストにあわせて「NOテレビ・ゲーム・スマホDay」の実施機会を設定し、取組を推進する。

ご家庭へお願い

○児童は意欲を持って学習に取り組もうとしています。また、ノート指導や一人一台端末（クロムブック）の活用などを通じて授業に取り組む姿勢も日々向上しています。しかし、確実に身につけてほしい基礎的・基本的なことの定着が不十分な現状があります。「家庭学習」の手引き等を参考に、今後も自主学習への取組のご協力をお願いいたします。

○「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を今後も親子で実践していただきますよう、引き続きお願いします。学力と生活習慣は密接に関係しています。

○学校ではICT機器を積極的に取り入れています。その際、情報モラルについても指導しています。ご家庭でもスマートフォン、ゲーム機等については、しっかりとルールをつくり、有効に活用できるよう、ご指導をお願いします。

